

医薬品利用を指向したリボヌクレオチド関連化合物の大量合成技術の開発



■期待される成果

- ・核酸医薬原薬の低コスト化、大量生産
- ・核酸医薬を含むバイオ医薬開発への貢献

■想定される実用化の時期
2015年頃

■シーズの内容

- ・核酸医薬シーズの液相大量合成
- ・ユニバーサル核酸塩基
- ・無細胞タンパク質合成基質ヌクレオチド

■プロジェクトリーダー

高知大学 片岡正典

■実施機関

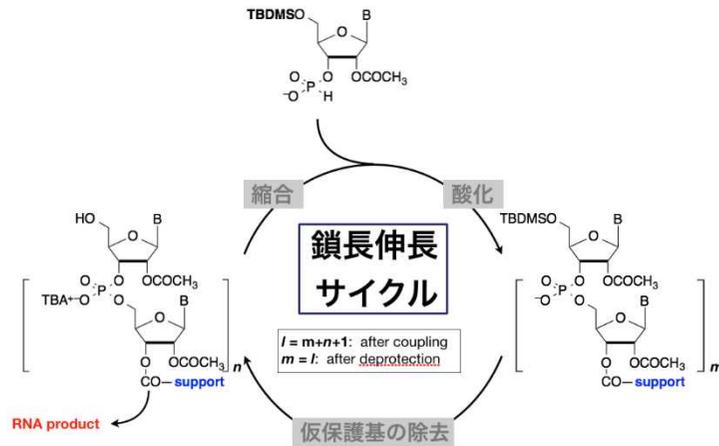
高知大学・株式会社テクノネットワーク四国
(起業支援機関)

■実施期間

平成25年12月～平成28年11月

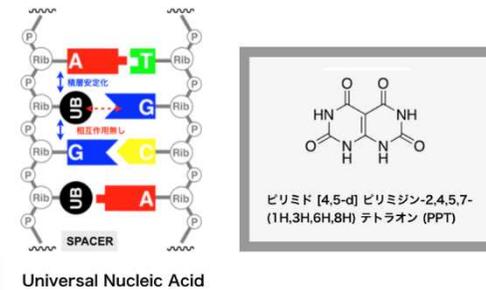
■ 研究開発のポイント

シーズ1：核酸医薬シーズの大量供給

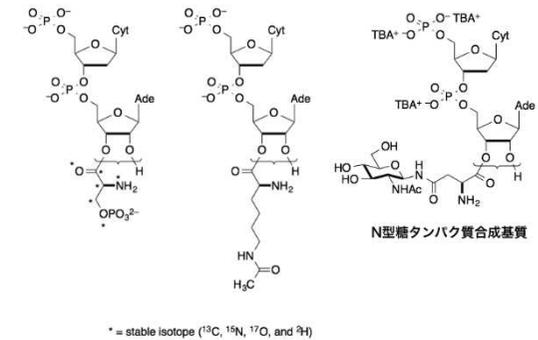


support = linear polymer (ex. polyethylene glycol, surfactants for protein); B = Ade, Gua, Cyt, Ura without base protection

シーズ2：ユニバーサル核酸



シーズ3：無細胞タンパク質合成基質



合成困難な高付加価値核酸化合物の大量合成法を開発する